



# おむねっとだより

～メンバー 手作り通信～



Vol. 81

発行日:2024/7/26

発行者:木漏れ日で眠る

猫たちグループ

就労支援センター

Om-net(おむ・ねっと)

## おむねっとCarが新しくなりました

去る令和5年12月初旬、おむねっとの公用車が日産自動車のセレナからトヨタ自動車のノアへと新しくなりました。それに伴い、6月7日に新たにカットングシールとラベルシールの貼り付けを行いましたので、作業を行ったメンバーにお話を伺いました。

<メンバー：龍聖さん>

慣れがあったので、スタッフが付きっきりでということもありませんでした。シールを貼る位置もほぼ悩まずに全体を見ながら決めることが出来、失敗箇所の補正も上手く出来ました。早くスムーズに進めることが出来たことも良かったです。ただ、今は貼り付け作業が出来る人が少ないので、もっと出来る人が増えたらいいなと思っています。興味がある人は積極的に参加していただけると嬉しいです！

<メンバー：K`sさん>

今回はラベルシールを水張りという、水を使った技法で貼り付けを行いました。上手く貼ることが出来て良かったです。カットングシールについては、マスキングテープの上に文字が重ならないように気を付ける事が大事だと気が付きました。あとは天候が良かったので、スタッフに良い日取りを設定していただいて落ち着いて貼ることが出来ました。シールの右と左の位置決めは苦手ですが、皆で確認しながら行ったのでうまくいきました(苦笑)。

(記事：neko)

## 花火の起源

今年ももうすぐ花火大会の季節がやってきます。浴衣を身に着けて出かける人、おうちから花火を鑑賞する人と様々でしょう。今回は、そんな花火や花火大会の起源について解説したいと思います。

花火の起源は「のろし」という遠くの人に煙を使って情報を伝える方法が原型とされています。西暦600年ごろには中国の錬丹術師と呼ばれた薬を作る人々が炭・硫黄・カリウムといった物質から火薬を発明しました。火薬はその後国境を越えて各地に伝わり、今のような「見て楽しむ」花火が作られるはじめたのは14世紀ごろのイタリアといわれています。キリスト教のお祭りに登場した火花や音を出す「しかけ花火」のようなもので、やがて花火は世界中に広まっていき、さまざまな色や形が作られていくようになりました。

日本に花火が伝来したのはそれから少し後の16世紀後半、戦国時代に火薬を使う火縄銃と共に火薬が広まり、合戦の合図である「のろし」にも使われていました。その火薬が戦のためだけでなく、鑑賞用として使われるようになったのは、江戸時代に入ってからだと言われています。ちなみに日本で最初に花火を鑑賞した人物として、伊達政宗公が米沢城で観賞した説と、徳川家康公が江戸城の二の丸で観賞した説の二つの説が有力です。

一方花火大会の起源は、江戸時代中期にあたる享保<sup>きょうほう</sup>18年に隅田川で行われた両国川開きがその由来と伝えられています。花火師の玉屋・鍵屋が自身の花火を宣伝する目的で花火を打ち上げたのが始まりのようです。これは現在の隅田川花火大会として、戦争やコロナ禍での中断を挟みながら約270年の歴史を誇る花火大会となっています。花火に合わせて「たまや～」「かぎや～」という掛け声がかかることがありますが、これは、双方の花火が上がる時にそれぞれ屋号を掛け声で呼んでいたことが起源となります。

このおむねっとだよりが発行される頃には、北海道各地で花火大会が開催される予定です。起源を知る事で、今年の花火大会をより一層楽しむことが出来るかもしれませんね。

(記事：neko)

# 年賀状印刷のお知らせ

毎年ご好評いただいている年賀状についてのお知らせです。

現在おむねっとでは、年賀状を作成中です。2025年は巳年なので、おもに巳のイラストや巳の文字を使ったデザインを作成しています。

年賀状のカタログが出来次第あらためてお知らせいたします。

(記事:N)

## 貴方は SCP を知っていますか？

SCP 財団とは、「自然法則に反した異常な存在、場所、物体、現象」通称 SCP を確保、収容、保護をする国家最高秘密機関と言う設定の共同創作コミュニティサイトです。

分かりやすく言うと色々な人達で架空の都市伝説を創作し、共有して楽しもうというサイトとなっています。数多くの SCP の報告書が投稿されており、漫画や YouTube 動画等で紹介もされています。

これだけの情報では一体どんな物なのか検討もつかない方も居ると思いますので、記者二人の独断と偏見で選んだ「SCP」を紹介させていただきます。

まず一つ目は、neko が紹介致します。「SCP-529 オブジェクトクラス:Safe」通称:半身猫のジョーシー

小さな家猫です。特別警戒する必要はありません。”ジョーシー”はとてもおとなしく、低レベル施設なら自由に移動させても構いません。ただしチーズを与えてはいけません—欲求を満たすのに不十分な量のチーズを与えると悲しむためです。

胸部から尻尾までの部位が失われているように見えます。あたかも真二つに切断されたかのような外見です。そのような状況にも関わらず健康問題はなく、まるで四肢全てが揃っているかのように動きまわります。普通の猫と同じように日常生活に支障があるように見えません。

断面図から身体の中を覗く事は出来ず、代わりに全て吸い込む黒い綺麗な穴が見えます。触れると緩やかに曲がっています。この箇所を優しく撫でると喉を鳴らす等を示しますが、長く続けると研究員に対し爪を出して襲い掛かります。引っかかれても特に異常はありません。

下半身が見えないわけではありません—実験により下半身は存在しないと判明しています。

報告書の写真は割とリアルですが、生態はただのかわいい猫そのものなので、是非見てください。

引用—「日本語版 SCP 財団」—<http://scp-jp.wikidot.com/scp-529>

二つ目は、AYM が紹介致します。「SCP-404-JP オブジェクトクラス:safe」通称;Not Found

「このページはまだ存在しません。」と言う文言から始まる、まだ白紙のページとして表記されているように見える怪奇創作サイト SCP です。普通の白紙ページであれば下まで見ても、SCP を新たに書くページとして終わるのですが、このページはすぐに下まで行って読み始めてください。博士と研究員のやり取りが描かれています。それだけでも、もう既に新規の白紙ページと違う異常が起こっています。

ギミックのあるサイトページです。どんなギミックかは見てからの楽しみです。

そして、ナンバーの後に JP とついているので、日本産の SCP でございます。基本ナンバーの後に何もついていないのは本場アメリカ産で、JP 等の英語略で二文字ついているのがその国で作られた SCP となります。

体験したい方は—「日本語版 SCP 財団」—<http://scp-jp.wikidot.com/scp-404-jp>

読んでみていかがでした？載せている URL は公式の SCP 財団の HP です。イラストや写真も載っているので興味を持って下さった方は、是非他の SCP も見てみてください。

(記事:AYM)

( \* ' ω ' \* ) 編集後記 ( \* ' 艸 ` )

👉 「SCP-682 オブジェクトクラス: Keter」通称:不死身の爬虫類もオススメです。(neko)

👉 SCP に通称: くすぐりお化けと通称: 批判的なトマトをおススメします! (AYM)

👉 気温が暑すぎて、毎日疲れがとれずにいます。(N)

☆お問い合わせ・見学のご相談等は、こちらへお気軽にどうぞ!

就労支援センター

**Om-net**  
おむ・ねっと

社会福祉法人 せらび

所在地: 〒066-0027

TEL: 0123-25-6539

FAX: 0123-25-6613

就労支援センター Om-net(おむ・ねっと)

北海道千歳市末広 4 丁目 1 番 13 号

e-mail: om-net1363@therap.or.jp

Web: <http://www.therap.or.jp/omnet>

